

取組結果報告書(○年目)

企業等の名称

株式会社○○○○

本実績報告にかかる「支給決定通知書」または「停止条件付支給決定通知書」の表題に記載の年数を記入してください

実績報告書(様式第10-1号)の「本実績報告に係る助成対象事業の実施期間」を記入してください

1 本実績報告に係る助成対象事業の実施期間(以下「今期」といいます。)

令和 ○ 年 12 月 20 日 ~ 令和 ○ 年 12 月 19 日

2 取組計画における目標達成状況 及び 採用活動実施状況

(1) 取組計画で設定した目標の達成状況を下記に記入してください。

		○年目 目標値	○年目 実績値	○年目 達成率(%)
例	正社員採用数	2 名	1 名	50 %
目標①	若手従業員(正社員)採用数	2名	1名	50 %
目標②	若手従業員の定着率 ※助成対象期間中に採用した若手従業員(正社員)が実績報告時点で在籍している割合	100%	100%	100 %
目標③				%

(2) 今期に実施した採用活動を記入してください。

- ・新卒向けの合同面接会に●回参加し、2名から応募があったが、採用には至らなかった。
- ・各種求人広告を●回掲載し、3名から応募があり、その中から1名採用することができた。

(3) 今後の採用活動の予定を記入してください。

- ・2年目以降も同程度の採用活動を計画している。

3 今期の取組内容の振り返りと今後の取組方針

各助成対象事業（住宅の借上げ・食事等の提供・健康増進サービスの提供）について、今期の取り組んだ内容を具体的に記載してください。また、目標の達成状況（上記2）を踏まえて、取組の成果、反省点について記載してください。

（1）住宅の借上げ

今期の取組内容 ※借上げ住宅の戸数、借上げ期間（若手従業員の入居期間）、借上げ住宅の活用促進のための取組(若手人材の採用活動におけるPR及び社内周知)等について具体的に記載してください。	・支給決定後、共同住宅1戸の賃貸借契約を締結し、令和〇年12月25日から既存の若手従業員1名が居住している。 ・新卒向けの合同面接会（●回参加）において、社宅制度を積極的にPRした。 ・各種求人広告（●回掲載）に社宅制度を明記し、若手求職者へPRを行った。 ・その結果、令和〇年3月に新規採用した若手従業員が社宅の利用を希望したため、令和〇年4月に共同住宅1戸の賃貸借契約を締結し、同年4月から若手従業員1名が居住し、借り上げ住宅の個数が合計2戸となった。 下記の項目を必ず記載してください。 ①借上げ戸数と、借上げ開始時期 ②入居した若手従業員数と、入居時期 (退去した場合は退去時期も記載)
確認事項 	住宅の借上げに係る助成対象経費の50%以上を助成対象事業者が負担している。
成果 ※設定した目標（上記2）の観点から、効果が感じられたことを記載してください。	・新卒向けの合同面接会でも借上げ社宅についての質問が多くあり、求職者の関心の高さがうかがえた。 ・情報通信業界は求人が多いため、内定を出しても辞退されてしまうことが多かったが、借上げ社宅により求職者への訴求力が高まり、1名の採用につながったと感じている。 ・特に、若手人材は収入が低く、都内の住居を借りづらい現状があるため、社宅の提供が入社の強い後押しとなったようである。 ・3月に新規採用した若手従業員からは、借り上げた住宅が職住近接で短時間で通勤ができ、賃料の補助もあることから、時間とお金に余裕が生まれてありがたいとの意見をもらっている。
反省点 ※設定した目標（上記2）の観点から、取組の反省点を記載してください。	・社宅規程の整備や不動産賃貸借契約に時間を要してしまい、採用活動におけるPR開始が遅れてしまった。目標であった2名の採用は達成することができなかった。
今後の取組方針 ※上記反省点を踏まえ、今後の取組方針を記載してください。	・1年目で培った経験をもとに、スムーズに賃貸借契約や社宅利用の社内手続きを行う。 ・2年目は借上げ社宅を3戸にし、若手従業員の採用活動でPRに使う。

(2) 食事等の提供

今期の取組内容 ※取組開始時期、実施した食事等の提供についての概要、活用促進のための取組(若手人材の採用活動におけるPR及び社内周知)等について具体的に記載してください。	・令和〇年3月から置き型社食を社内に設置し、通常の半額で従業員に対して提供した(上限:1人につき週2食)。 ・令和〇年5月からウォーターサーバーを設置し、無料で従業員に提供した。 ・求人広告に置き型社食やウォーターサーバーがあることを記載し、求職者へPRを行うとともに、会社PR動画において置き型社食の利用風景を流し、社外にPRを行った。 取組開始時期を必ず記載してください。
確認事項 ☒	助成対象事業者が従業員のために、継続的かつ定期的に食事等を提供し、助成対象経費の50%以上を助成対象事業者が負担している。
成果 ※設定した目標(上記2)の観点から、効果が感じられたことを記載してください。	・従業員から好評の声が多く聞かれ、定着率に好影響をもたらしたと感じている。近くにコンビニがないため今まで不便であったが、置き型社食により手軽に昼食を購入できるようになり、従業員の休憩時間が有効に使えているようである。 ・野菜が多く含まれているメニューが多く、従業員の健康維持にも効果が感じられる。 ・ウォーターサーバーはお湯も使用できるタイプのため、従業員には好評である。 ・求人広告に置き型社食とウォーターサーバーの設置について記載した。「半額で購入できる置き型社食あり。」と記載したところ、面接でこれに関する質問が多く寄せられた。
反省点 ※設定した目標(上記2)の観点から、取組の反省点を記載してください。	・利用した従業員からは好評の声が寄せられたものの、その声を採用活動で十分にPRできなかったことが悔やまれる。 ・メニューの入れ替え頻度を増やしてほしい、との従業員の声があった。 ・ウォーターサーバーについては、ストックボトルの管理や衛生管理を1名の従業員だけをお願いしており負担に感じているようなので、今後は当番制を検討したい。
今後の取組方針 ※上記反省点を踏まえ、今後の取組方針を記載してください。	・置き型社食やウォーターサーバーを利用している従業員の声を聞き取り、採用活動におけるPR資料に盛り込みたい。 ・食事等のサービス提供事業者と、契約している金額の範囲内でメニューの入れ替えを行い、今よりも飽きない工夫をし、従業員の満足度を高めたい。

(3) 健康増進サービスの提供

今期の取組内容 ※取組開始時期、実施した健康増進サービスの提供についての概要、活用促進のための取組(若手人材の採用活動におけるPR及び社内周知)等について具体的に記載してください。	・社内で3回フィットネス講座を開催した(令和〇年2月、5月、8月)。全従業員が少なくとも1回は参加することができた。 ・令和〇年4月にランニングマシン1台を購入し、社内に設置した。計画では3台を予定していたが、事業所内のレイアウト変更によりスペースの確保ができないため1台のみの購入に変更した。 ・求人広告に定期的なフィットネス講座やランニングマシンの利用の様子を記載し、求職者へPRを行うとともに、会社HPにその様子を掲載し、従業員の感想を載せた。 取組開始(実施)時期を必ず記載してください。
確認事項 ☒	助成対象事業者が、従業員の健康増進サービスを提供し、助成対象経費の50%以上を助成対象事業者が負担している。
成果 ※設定した目標(上記2)の観点から、効果が感じられたことを記載してください。	・フィットネス講座への参加を機に部署を超えて従業員が集うことができ、社内のコミュニケーションの活性化につながった。 ・フィットネス講座の実施風景を会社案内動画に掲載し、社員の健康増進に取り組む雰囲気を伝えることができた。 ・ランニングマシンは昼休憩や終業後に利用する従業員が多く、利用している従業員からは「手軽に運動が出来てよい」「運動不足の解消になる」との声がきかれた。
反省点 ※設定した目標(上記2)の観点から、取組の反省点を記載してください。	・ランニングマシンの設置が遅れたため、これについて採用活動で十分にPRすることができなかった。 ・第1回のフィットネス講座の開催案内が遅くなってしまったところ(2週間前)、すでにスケジュールが埋まっている従業員が多くみられた。
今後の取組方針 ※上記反省点を踏まえ、今後の取組方針を記載してください。	・ランニングマシンの設置についても、求人票等に記載し、求職者にPRする。 ・フィットネス講座の開催案内は必ず1か月前までに実施する。